

産地戦略

実施期間 令和6～10年度

実施主体 栃木県
都道府県 栃木県
対象地域 栃木市
対象品目 さつまいも



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	● 温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

さつまいも生産では、雑草発生の抑制や保温効果を目的に畝にプラスチックマルチを使用することが一般的である。また、本県では粘土質の水田にさつまいもが作付けされていることから、収穫前のマルチ剥ぎ取りとその回収作業はとりわけ重労働である。

そこで、使用後の土壌すき込みが可能であり、撤去作業を要しない生分解性マルチを導入することで、プラスチックマルチの使用量削減と、生産者の作業労力の低減を図る。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名													

グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名													

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R5	目標R10	備考
(参考) 対象品目の作付面積 (ha)	2	▶ 5.7	
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	0.3	▶ 5.7	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	0.3	▶ 5.7	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	0.3	▶ 5.7	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	プラスチックマルチ使用	▶ 生分解性マルチの導入	プラスチックマルチ（石油由来資材）の使用量削減 マルチ剥ぎ取り工程及び回収工程の削減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
省力	マルチ剥ぎ取り及び回収に係る作業時間（時間）	51	▶ 0	10aあたり1.5時間×2人の削減 （現状はプラスチックマルチ使用面積1.7haとして算出）

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

地域のさつまいも生産者に対し、マニュアルに基づいた栽培指導により技術の普及と定着を図る。

関係者の役割

関係者名	下都賀農業振興事務所	生産者		
役割	マニュアル作成及び技術指導による技術の普及	技術の実証及び導入		

その他